

那覇市新文化芸術 発信拠点施設 基本設計 ワークショップ概要

日時：平成28年8月6日（土）13：30～
会場：旧久茂地小学校（建設敷地）
那覇市役所研修室



開催の概要：

今回のワークショップでは、建設予定地である久茂地小学校跡地に集合し、新たな施設のおおよその建物配置や内部の共用空間（ウナー）等の区域を現地に縄張りし、実際の大きさ等を参加者で確認しました。その後、施設への主なアクセス経路の一つである県庁前駅を經由してデスクワークの会場である市役所へと移動しました。途中、参加者がそれぞれの感想を共有しながら車道や歩道、公園や空地、や店舗などの周辺環境を確認することができました。市役所でのグループワークでは、先に体感した空間の大きさや周辺環境、交通アクセスなども含めた活発な意見が交わされた他、施設の様々な使い方から使用料金や予約方法などの管理運営についても話題が広がりました。前回に比べて、参加者が施設をより具体的にイメージしているように感じられました。

当日の全体の流れ

- 1 開会の挨拶
- 2 当日の進め方について
課題「建物の配置と敷地周辺への配慮、
主要駅からのアプローチについて」
- 3 敷地及び建物配置の確認と検討
- 4 敷地から市役所まで周辺環境を確認しながら移動
- 5 前回のワークショップ振り返り、最新案の説明
- 6 グループワーク
（自己紹介、意見交換、とりまとめ、グループ発表）
- 7 設計者よりひとこと
- 8 事務連絡
- 9 閉会の挨拶

参加者 22人

ご意見の概要

3つの班に分かれてのグループワーク

全体

欲しい機能や要望など

大練習室から大ホールへの動線の確保/大練習室から舞台へのアクセス(エレベーター設置等) /1階と3階の練習場機能を交換/自由に入れるスペースを多く/防災倉庫設置/津波の際の避難場所/久茂地川の潮位（高潮）/バックスペースの使い易さ/建物自体はインパクトがある、中身の機能性も高く/搬入ルートの床の仕様も見栄え良く/汚れ・メンテナンスに配慮/2階にも普段使えるスペース（読書コーナー等）を設置/読書目的も多いのでは？/1階から2階へはエスカレーターも必要では？/女子トイレの数は十分に/仮設ではない和室があった方がよい/記念撮影できるような施設の顔になる場所が欲しい（大階段等）/

外観、その他

ポケットパーク利用/公園との繋がりを意識した空間づくり/外でも遊べる空間/半屋外空間/公共交通利用者へのサービス/雰囲気のある照明(安心・安全)/電線地中化/シーサーは置くのか？/木陰が欲しい/石灰岩の外壁への使用は汚れ、メンテナンスに配慮/小中学生が興味を持つようなモニュメント・インパクトあるモニュメントが欲しい/モノレール側からインパクトのある外観/植栽検討/既存樹木、幼稚園側のガジュマルを残す/柔らかい表情づくり(木を使っては？)/催し物のアピールにライトアップをしてはどうか/建物の色を良く検討して欲しい/通り側の外観を演劇等の衣装の柄のようにしてはどうか/修学旅行生等の集合場所

ウナー

ブラウジングコーナーは具体的に何か考えているのか/ウナーは空調環境にあるのか？/1階の窓まわりは暑さ対策が必要/ウナーはイベントスペースとしては狭い。イベント時の想定をもう少し具体的に/大階段にしてはどうか/大ホールホワイエのアプローチ階段を工夫する/休憩テーブルがあった方がよい/大ホール客用EVは一基では少ないのでは？(高齢者、障害者)/パー用の小さなテーブル（立ち飲み）

ホールまわり

舞台

仮設の脇花道は使いにくい。利用者へ確認して欲しい。/舞台と同じ階にも部屋があり、リハーサルに使える！

客席

もぎりの前にくつろぐエリアは何処か？/もぎりの区分けがイメージしづらい/もぎりの内側に並ぶこともある/入場待ちの列のパターンを検討(もぎり、パーティション)/現市民会館は施設の外で待たなければならぬ/客席からの見え方はどのようになるのか/4階席になると急勾配になるが配慮はあるのか？/客席ステップにLEDを使用/てだこホールは客席の階段がきつい/おじいおばあにやさしいホールをアピールポイントに！

練習室

大練習室1について

リハーサル等に使うのであれば大ホールの近くに設置した方がよいのではないかと/大ホールへのアクセスは2階からブリッジを渡ってはどうか/出演者がウナーを通過して大ホールへアクセスし一般の人から見えても面白いのではないかと/室名に引きずられぬので「多目的室」などへ名称を変えてはどうか/床のフローリングが外部へ開け放したときに痛むのではないかと

その他練習室も含めて

楽屋利用もできる練習室を設けられないか/ピアノ、鏡、PA機器が必要

カフェ

ウナーにレストラン（テーブル、イス付）を設置してもらいたい。

屋上テラス

屋上の緑化テラスを日頃から市民の人が使えるようなGREEN×CAFEスペースが欲しい。

管理運営

大ホールの控え室として小ホールを借りる際の貸出のタイミング(両方借りられるように・現市民会館の貸し出しは同時抽選)/芸術・芸能団体代表から舞台・ホールの使い勝手等の意見を聞く/中心市街地につくる意味→劇場関係者の研修・交流イベント。那覇に集まり、連泊してにぎわいお金を使う/目的を持って来る人のための建物なのか、賑わいのための建物なのか?/久茂地地域の集会室についてはどうなっている?/舞台演出設備仕様は誰が決めるのか(音響・照明・コンピューターグラフィック・パブリックビューイング・映像設備)/まちづくりと機能性の両立が必要/ウナーを利用した独自の展示イベント/ストリートダンスをやる人達の使い方、ルールづくりが必要/周辺飲食施設との連携/イベント終了後の客に周辺施設を使ってもらい余韻を楽しんでもらう(半券割引等)/イベント終了時のケアが重要/敷地周辺は夜間利用の飲食施設が多いので、昼間利用に対応した飲食施設があった方がよい/島野菜カフェやスムージーなど、とことん沖縄を追求/使用料は負担が少ないように/1階席のみ使用で値段を下げる等の工夫等はとても良い/国立劇場はスタッフ込みの値段(外部から人を呼ばなくても済むが高額となる印象)/使用料は現行どおり?

アクセス

駐車場

大型バスの利用を明確に(大道具搬入車のみ、人は駅から歩く等説明して欲しい)

車寄せ

西側車寄せまわりを明るく/車寄せはやはり一銀通り側のほうが良い

周辺道路について

国際通りが歩行者天国の時はバスや車はどうなる?(県庁前駅周辺は観光バスの停車で使えないかも?/歩いてみたら思った以上に近かった。市内の高校生には便利かも/駅から施設までの歩道を美しく/久茂地30号側の木はどうするか/大型バスの乗り付け場所は?/大型バスが20台も来るときは別の駐車場を使うということでは?/自転車利用者への配慮/駅からのアプローチをしっかりとつくる/駅からのシャトルバス検討/北部や南部からの利用は、車+モノレールを活用/国際通りに案内板を設置/標識

その他

更地になった状態で建物の大きさをもう一度見てみたい/中水利用、太陽光活用、ゴミ処理/エコ会館を目指し雨水活用を/エコシステムを機能的に入れる(中水利用、ソーラー以外)



建設敷地にて検討案の建物配置確認



グループワークの様子(意見交換)



グループワークの様子(グループ発表)

設計者、事務局からのコメント

設計者コメント:

前回は、初対面の皆様に設計案を説明し、参加した皆様もいきなり意見を求められ、知らない人の中で発言いただく状態でした。今回は、既に顔見知りで発言し合い、敷地に集まり原寸のサイズを確認し、駅まで歩き、それから意見を交わす回でした。個人的な思いを主張するだけでなく、異なる意見や考え方があり、現実の状況もより理解しあった上で交わす意見は、個々に状況を踏まえた上でより良くするための考察された意見が増えて来たと感じました。設計担当の私たちもより状況を詳しく理解し、多数の異なる視点からの意見を聞いて、より考えるべき事をたくさん学習しました。1回だけ言い合って終わるのではなく、継続的に議論しあう事の大切さを実感しました。頂いた多数の意見からたくさんの新しいスタディが可能になっています。次回に向けて、より良い案に練り上げてゆきたいと強く思いました。これからも是非よろしく願いいたします。

事務局コメント:

今回のワークショップでは、建設予定地において新しい建物の配置やウナーなどの共用空間の位置や大きさなどを参加者、設計者、行政職員と一緒に確認することができました。前回のワークショップの後に別途開催した現市民会館の施設見学ツアーの際にも、ウナーや練習室の大きさ等を現施設と比較しながら確認しましたが、実際の敷地で、より具体的な形状と大きさを確認してみると思ったよりも「広い」或いは「狭い」などそれぞれ自分の感覚で感じられたのではないのでしょうか?その後、各班が選択したルートで市役所まで移動する際には、実際の車道、歩道の状況や店舗や住居が混在する周辺地区の独特の雰囲気を観察しながら新たな施設の建設に併せた「まちづくりの必要性」についても盛んに話題になりました。新しい施設の整備とともに周辺のまちづくりも多くの皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。施設計画については、第1回目ワークショップより修正した最新案について、改善点を評価いただいた部分もあり、まだまだ不足な部分についてのご指摘も沢山いただきました。これらについては、施設のより具体的な使い方をイメージしながら、一つ一つのご意見を丁寧に分析・検討することで課題の解決に取り組んでまいります。引き続き、皆さんとワークショップ等を通して施設の役割や機能についても検討を深め、文化芸術を通して人やまちを元気にできる、市民に愛される施設づくりに努めて参ります。

説明者「香山・久米・根路銘設計共同体」

事務局 那覇市市民文化部文化振興課 新市民会館建設室 (新文化芸術発信拠点施設整備事業担当)

【問い合わせ】

〒900-8585

那覇市泉崎1-1-1

那覇市市民文化部文化振興課

新市民会館建設室

(新文化芸術発信拠点施設整備事業担当)

電話:098-917-2395

Fax:098-917-1382

e-mail:

c-bunka001@city.naha.lg.jp

今後の開催予定

第3回	市役所研修室	・前回ワークショップをふまえた検討中最新案の説明 ・意見交換
第4回	市役所研修室	・管理運営手法や施設活用事例、様々な事業プログラムなど、先進施設の事例を紹介 ・最新検討案の報告 ・意見交換
第5回	市役所研修室	・基本設計取りまとめ案の検討 ・意見交換

